**コラム①　国際協同組合年とは**

国際年をご存じですか。国連は1957年を国際地球観測年と定めたことをスタートに毎年何らかの「国際年」を設けています。これは、世界に共通する重要テーマについて、各国や世界全体が1年間を通じて呼びかけや対策を行おうとするものです。

【2025年は国際協同組合年です】

こうした中で、2025年は、国際協同組合年と定められました。2012年に続いて、２回目です。協同組合をもっと盛んにして、SDGs（持続可能な開発目標）（※）をもっと現実のものとするために、国連は協同組合を評価、重視し、期待を寄せています。また、国連と歩調を合わせて、世界各国の政府や協同組合に、国際協同組合年を活用することを求めています。

日本国内の協同組合においても事業・活動をさらに発展させ、協同組合に対する認知度を高めていく絶好の機会と捉え、政府や関係者の方々と協力しながら、この機会を活かしていきたいと考えています。

国際協同組合年は、協同組合の事業を利用する方、活動に参加する方、そして働く方を広げるチャンスとも言えます。

【協同組合を学び、事業や活動を実践し、発信しませんか】

これまでもこれからも、協同組合のことを広く知る、知ってもらう、そして共感や信頼につなげることが大切です。今こそ、次のような３つのステップで、協同組合を学び、事業や活動を実践し、さらにこれを発信しませんか。

１．学んでみよう

（１）国際協同組合年について学び、共有してみよう

（２）協同組合とは何か、何を大切にしているか、どのように運営するか、あ

らためて協同組合らしさ（協同組合のアイデンティティ）を学ぼう

２．実践してみよう

みんなで話し合い、つながりの輪を広げ、できるところから始めてみよう

３．発信してみよう

　学んだこと、実践していることを発信してみよう。発信することで知ってもらい、地域のつながりの輪を広げましょう。

|  |
| --- |
| ※SDGs（Sustainable Development Goals）は、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「持続可能な開発目標」です。 キーワードは「Leave No One Behind（誰一人取り残さない）」。2030年を期限とする世界共通の17の目標を設定して、貧困や飢餓、暴力を撲滅し、地球環境を壊さずに経済を持続可能な形で発展させ、人権が守られている世界を実現することを目指しています。 |

|  |
| --- |
| ※ロゴとスローガン |

|  |
| --- |
| [2025年国際協同組合年（IYC2025）のページ｜日本協同組合連携機構（JCA） (japan.coop)](https://www.japan.coop/iyc2025/) |

（2025国際協同組合年全国実行委員会　事務局

：一般社団法人　日本協同組合連携機構）